

みなみのひろば

MINAMI no HIROBA

<発行>

南地区コミュニティ・南公民館

連絡先 36-7341

R1.6.20 第415号

大健闘! 南地区グラウンドゴルフチーム 第24回

西那須野地区コミュニティ親善グラウンドゴルフ大会



6月16日(日)、恒例の西那須野地区コミュニティ親善グラウンドゴルフ大会が、中央地区コミュニティグラウンドを会場に開催されました。当日は、朝からあいにくの雨模様でしたが、開始時刻には青空も覗き、選手の皆さんのはつらつとしたプレーで熱気あふれる大会となりました。

前年度団体優勝に輝いた南地区チームは、ディフェンディングチャンピオンとして臨みましたが、結果は惜しくも団体第4位。それでも、選手の皆さん

は重い芝や難しいコースに苦勞しながらも日頃の練習の成果を思う存分発揮して、ナイスショットを連発しました。なお、個人の部では、次のとおり入賞を果たしました。

【男子の部】 齊藤 武さん(第7位)・辻野 秀敏さん(第10位)

【女子の部】 代田 千斗さん(第5位)・渡辺 キミさん(第6位)

今年も、南地区から出場した総勢33人の選手の皆さんが元気いっぱい、怪我なくプレーしている姿がとても印象的でした。選手及び応援団の皆さん、大変お疲れさまでした。また、ホスト地として大会運営をいただいた中央地区コミュニティの皆さん、お世話になりました。

南地区盆踊り大会実行委員会からのお願い

事業所の皆様、今年も広告料の御協力をお願いいたします!

南地区の夏の風物詩、第24回南地区盆踊り大会を、来る8月3日(土)に開催いたします。

今年も、大会の運営費といたしまして、コミュニティ会員世帯からの会費のほか、例年同様、事業所の皆様から御協力をいただき、広告料を財源とさせていただきたいと考えております。

御協力をいただきました広告料は、地域内の子どもたちに振る舞うかき氷や、お楽しみ抽選会の景品など、地域の皆さんに楽しんでいただける催しに有効に活用させていただきます。

なお、昨年度に広告料の御協力をいただきました事業所様には、近日中に実行委員会の役員がお伺いさせていただきますので、引き続きの御協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

また、新たに協力を申し出くださる事業所様につきましては、各地区の自治会長又は役員、若しくは南公民館(TEL 36-7341)まで御連絡ください。

盆踊り参加団体募集

~参加団体には、団体賞を贈呈します!~

今年も、盆踊り大会を盛り上げる団体の参加を大募集します。10人以上のグループで参加し、元気いっぱい踊って夏の一夜を大いに楽しみましょう!

昨年の参加団体には、追って代表者宛てに御案内を差し上げますので、今年も是非御参加ください。また、新たに参加を希望される団体がありましたら、お気軽に南公民館までお問い合わせください。なお、盆踊り大会の詳細は、みなみのひろば(7/20号)でお知らせします。



南地区コミュニティからのお知らせ

南小学校で「ゴーヤ・緑のカーテンづくり」事業を実施します

「環境にやさしい南地区～子どもたちと環境を考える」をテーマに、これまで継続して南小学校へのゴーヤの苗植えを実施しておりますが、今年度も引き続き次の日程で作業を行いますので、皆さんの御協力をお願いします。

この事業を通じて、地球温暖化対策の必要性を学び、小学生ばかりでなく、地域全体で環境保護に対する意識を高めていくことを目的としています。

近年の異常気象や自然災害の増加など、地球温暖化は私たちの生活を脅かすほどの影響を及ぼしているとも考えられます。今できることを、すぐに始めて、地球環境を良好にして未来の世代に引き継ぎましょう。

なお、植え付けをするゴーヤの苗は、代々、この事業で採取した種から育てています。

去年の6年生から、今年の6年生へ命が引き継がれていきます。

❖作業日時 7月5日(金)
午後1時10分～

※小雨決行で実施します。

❖作業場所 南小学校

❖対象者 南小6学年全児童

詳しくは、南公民館(TEL36-7341)

までお問い合わせください。



「遊べ!の森」の活動を終了します

南公民館グラウンドに隣接する平地林をお借りし、長年にわたりクワガタ等の昆虫採集や子どもたちの散歩コースなどとして地域の皆さんに利用していただいた「遊べ!の森」ですが、近年、害虫の大量発生や廃棄物の不法投棄など、地域での管理が大変困難な状況となっています。

加えて、将来的に「遊べ!の森」を活用した事業の予定もないことから、今般、借地契約を解消し、地権者様にお返しをする運びとなりました。

これまで、たくさんの思い出を残してくれた「遊べ!の森」と、長年御協力をいただいた地権者様に改めて深く感謝をいたします。



令和元年度コミュニティ会費の納入、
ありがとうございました。

今年度も、地域内全自治会からの会費の収納が完了しました。総会で議決をいただいた予算に沿って、適正に執行してまいります。

【一区町】	532戸	266,000円
【二区町】	580戸	290,000円
【二つ室】	216戸	108,000円

【自治会について、もう一回考えてみる】

自治会に対する心の声…?

- 役員をやりたくない…
- 自治会費などの余計な出費はしたくない…
- 行事や会議などに参加するのが面倒…
- 休みの日ぐらいゆっくりしたい…

今年の4月、ショッキングなニュースを耳にしました。市内のとある自治会が“解散”したというのです。

何がショックだったかといえば、一定の地区に住む皆さんの総意のもとに結成され、安心で安全な住みよい環境づくりのための取組みを長年継続してきた組織が、その目的を達することなく消滅してしまったこと。

核家族化、高齢者世帯や単身世帯の増加、住民の生活様式の多様化など、自治会を取り巻く状況が近年大きな変化をしている中、自治会の加入率も減少傾向となり、役員のみならず手不足など自治会の運営自体が困難な状況が見受けられるようです。その一方で、2017年に内閣府が行った「社会意識に関する世論調査」によると、「望ましい地域での付き合いの程度」に関する設問で、6割以上が「住民同士、困ったときは助け合う関係が望ましい」と回答しています。まさに、その「助け合い」の受け皿となる組織が自治会ですが、その役割が十分に認識されていないのかもしれない。つまり、住民のニーズが多様化する中で、自治会にも変化が求められる時代を迎えたということでしょうか。様々な“心の声”に耳を貸し、役員負担を軽減する方策を考え、多くの住民が関心を持つ事業を実施する…決して簡単なことではありませんが、住民の求める自治会像を再考することも必要なのかもしれない。

今後、益々「協働」の推進が重要な時代となります。住民の声を行政につなげ、行政の手の届かないところを補完しながら住みよい地域づくりを行うためには、自治会の存在意義は今後重要度を増していきます。自治会の活性化、加入率の向上について、公民館も皆さんと一緒に取り組んでまいります。

